



京都サンガF.C.

ホームタウンデー2021 1/2

新スタジアム移転後の新しい取り組みとして、ホームタウン市町の方々がサンガと一緒にスタジアムを楽しみ、笑顔で生き生きと輝ける機会を創出するため、TEAM京都コンソーシアムと協働で実施しました。従来からのホームタウンデーという名前や地域PR等の取り組みは活かしつつ、ホームタウン市町の方々が試合を観るだけでなくパフォーマーとして参加できるイベントにパワーアップさせ、サンガや新スタジアムとの距離を縮めて、誰もが楽しめるこれからの新しいカタチのイベントとして生まれ変わりました。



活動場所 サンガスタジアムbyKYOCERA



協働者

NPO、住民、学校、行政

協働者名

TEAM京都コンソーシアム(ホームタウンを中心とした各行政や団体等が一体となってサンガを応援し、地域コミュニティ活性化等に寄与するため設立された組織)、和知太鼓保存会、NPO法人京都府ダブルダッチ協会、京都府立綾部高校ダンス部、他多数



協働者の声

NPO法人京都府ダブルダッチ協会/副理事長 大西 英明 氏



スタジアムのお客様の温かい応援とクラブスタッフの皆様のサポートのおかげで大いな盛り上がりダブルダッチを通じて創出することができました。そして、大きなスタジアムでのステージはプロチームもちろんですが、高校生チームにとって、とても貴重な経験となりました!



活動詳細情報

1

[公式サイト](#)

カテゴリ(SDGs)/取り組みテーマ





京都サンガF.C.

ホームタウンデー2021 2/2

Story

2020シーズンにホームスタジアムを移転しましたが、移転初年度はコロナ禍の影響により様々な活動が制限され、ホームタウン市町の方々と新スタジアムを繋ぐ取り組みがほとんどできませんでした。そこで新スタジアムを一緒に楽しんでもらうための企画として、従来実施していたホームタウンデーを発展させて、京都サンガF.C.ホームタウンデー2021を考案し、ホームタウン市町の方々にスタジアムでパフォーマンスを実施してもらうことにしました。パフォーマンスについては、ジャンルやプロアマなど一切問わず、各ホームタウン市町の行政の方々と調整しながら、“スタジアムでやってみたい



こと”の希望を聞き、関係各所との協議や調整を重ねて、実現させていきました。

パフォーマンスは子供から大人まで幅広い年代の方々が参加し、京丹波町の伝統芸能である和知太鼓をはじめ、ダンス、ダブルダッチ、バトントワリングなどを実施していきました。また入場者数に上限が設けられた際は、ピッチではなくスタンドの一部を活用し、吹奏楽パフォーマンスを行うこともありました。

一つのパフォーマンスが終わる度に、もっと工夫できると感じるものがたくさんあったため、少しでも次に活かせるように試行錯誤を繰り返し行い、パフォーマーの方々とホームタウン市町の行政の方々と一緒に新しいホームタウンデーを作り上げていくことができました。参加していただいたパフォーマーの方々は、普段見ることのない大きなステージに大興奮し、パフォーマンスをできたことをとても喜んでおられました。スタジアムやサンガを身近に感じてもらえるいいきっかけになりました。



今後もホームタウン市町の方々が生き生きと輝ける場を提供していけるようにホームタウンデーをはじめとしたホームタウン活動に取り組み、地域に寄り添えるクラブであり続けたいと思います。